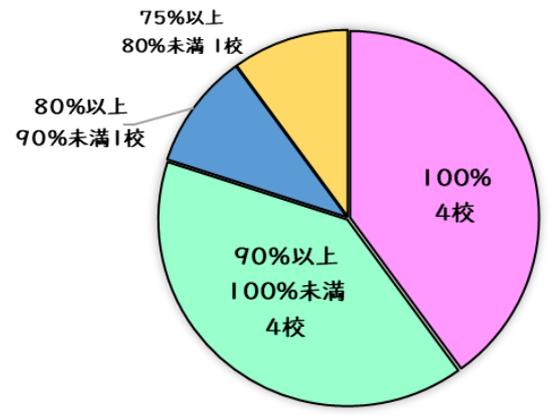


ストレスチェックの実施と活用

ストレスチェック受検率

(※業務改善推進校10校の結果より)



よりよい職場環境をつくろう!

ストレスチェックの目的

- ◎教職員自身のストレスへの気づき及びその対処の支援を通じて、メンタルヘルス不調となることを未然に防止すること。
- ◎受検後、集団ごとの集計・分析結果を各所属長に提供し、学校でよりよい職場環境づくりに役立てること。

受検率が100%に近いほど、自校の正確な実態把握ができます。グラフは推進校の受検率です。メンタルヘルス不調防止に向けた実態把握に対する意識の高さが伺えます。全ての学校において、よりよい職場環境づくりのために、何を改善すべきか、各校の強みと弱みを見つけるためにも全員受検をめざしましょう。

蹉跎小学校の結果(学校からの分析報告より)

学校の働き方改革と聞くと、「業務の効率化やスクラップ」「時間外勤務時間」に焦点が当たりがちですが、『教職員間の人間関係』こそ大事な要素であると考えます。『先生が幸せに働ける学校』が『子どもたちが輝く学校』に繋がっていくの思いで、教師一人一人の能力・経験・創意工夫を最大限に発揮できる「チームビルディング」に取り組んでいます!

【ストレスチェック前年度比較】

(※受検率R2:44.8% R3:92.9%)

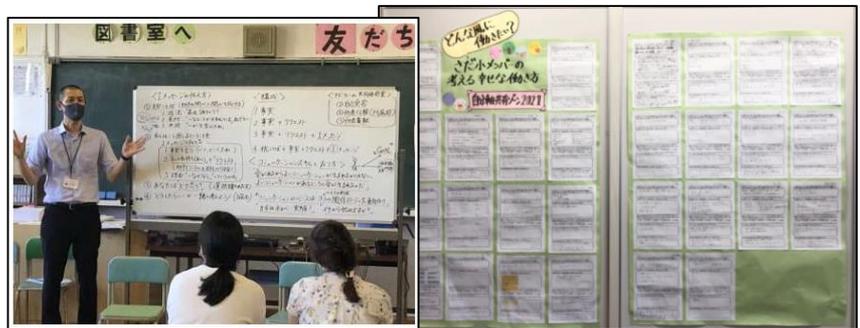
受検率が大幅UP!!

■「職場の対人関係上のストレス」
5.8(R2) ➡ 5.1(R3) (※全国平均6.3)

「0.7ポイント」改善!

■「同僚からの支援」
9.4(R2) ➡ 9.6(R3) (※全国平均8.2)

「0.2ポイント」上昇!



←首席による「先生が幸せに働く学校づくり研修」を春夏秋に開催。右写真は、各々の考える幸せな働き方を職員室に掲示したもの。それぞれの価値観を知り、共有ゾーンを探る。

